

先端医学研究推進支援センター

分子生命科学支援グループ

原著論文

- 1 °Higashimoto K, Watanabe H, Tanoue Y, Tonoki H, Tokutomi T, Hara S, Yatsuki H, Soejima H: Hypermethylation of a centromeric block of ICR1 is sufficient to cause Silver-Russell syndrome. *J Med Genet*, 58(6): 422-425, 2021, 6.

症例報告

- 1 *Sun F, Hara S, Tomita C, Tanoue Y, Yatsuki H, Higashimoto K, Soejima H: Phenotypically concordant but epigenetically discordant monozygotic dichorionic diamniotic twins with Beckwith-Wiedemann syndrome. *Am J Med Genet A*, 185(10): 3062-3067, doi:10.1002/ajmg.a.62364, 2021, 10.

学会発表

国際規模の学会

- 1 °Soejima H, Sun F, Yatsuki H, Higashimoto K, Hara S: Phenotypically concordant but epigenetically discordant monozygotic dichorionic diamniotic twins with Beckwith-Wiedemann syndrome. *ESHG 2021 – Virtual Conference*. 2021, 8, 28-31. Poster P11.020.B.

国内全国規模の学会

- 1 °原 聡史, 孫 菲菲, 富田知世子, 田上由香, 八木ひとみ, 東元 健, 副島英伸: 表現型は一致するが DNA メチル化状態が一致しない Beckwith-Wiedemann 症候群双胎 (二絨毛膜二羊膜) の 1 例. 日本人類遺伝学会第66回大会/第28回日本遺伝子診療学会大会 合同開催 (ハイブリッド開催). 2021, 10, 13-16 (現地開催+ライブ配信), 2021, 10, 14-11, 30 (オンデマンド配信), 2021, 10, 28-11, 30 (ライブ録画配信). 抄録集.

学術 (学会) 賞

職名	氏名	学術 (学会) 賞名	受賞課題
教授 外国人研究者 技術員 准教授 助教	Soejima H Sun F Yatsuki H Higashimoto K Hara S	European Society of Human Genetics Conference, Best Poster	Phenotypically concordant but epigenetically discordant monozygotic dichorionic diamniotic twins with Beckwith-Wiedemann syndrome.

生体構造機能学支援グループ

原著論文

- 1 *Yamamoto M, Sakamoto Y, Honda Y, Koike K, Nakamura H, Matsumoto T, Ando S: De novo filament formation by human hair keratins K85 and K35 follows a filament development pattern distinct from cyokeratin filament networks. *FEBS Open Bio*, 11(5): 1299-1312, 2021, 5.

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 ○吉本怜子, 合島怜央奈, 大崎康吉, 曹 愛琳, 高 瑋琦, 西山めぐみ, 本田裕子, 内野加穂, 澤田孟志, 城戸瑞穂: Role of a warm-activated cation channel TRPV4 in oral epithelial wound healing. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会／第98回日本生理学会大会 合同大会 (WEB 開催). 2021, 3, 28-30 (ライブ配信／オンデマンド配信), 2021, 4, 5-5, 10 (オンデマンド配信). プログラム集, p. 79.
- 2 内野加穂, 吉本怜子, 西山めぐみ, 澤田孟志, 高 瑋琦, 曹 愛琳, 本田裕子, 城戸瑞穂: The effect of Transient receptor potential-vanilloid 4 (TRPV4) deletion on endochondral ossification. 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会／第98回日本生理学会大会 合同大会 (WEB 開催). 2021, 3, 28-30 (ライブ配信／オンデマンド配信), 2021, 4, 5-5, 10 (オンデマンド配信). プログラム集, p. 128.
- 3 ○澤田孟志, 吉本怜子, 松本明子, 牧野優徳, 高 瑋琦, 本田裕子, 内野加穂, 古賀龍之介, 福山哲平, 城戸瑞穂: アルデヒド脱水素酵素 2 欠失はマウス喘息を増悪させる. 第44回日本分子生物学会年会 (ハイブリッド形式開催). 2021, 12, 1-3 (現地／オンライン開催). ポスター発表要旨集, p. 1348.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額(千円)
教務員	本田 裕子	科学研究費助成事業	基盤研究(C) (代表)	メカノセンサーチャネルが制御する口蓋癒合機構	1,690
教務員	本田 裕子	科学研究費助成事業	基盤研究(B) (分担)	メカノセンサーを標的とした歯周病制御	130
教務員	本田 裕子	科学研究費助成事業	挑戦的研究 (萌芽)(分担)	メカノセンサーチャネルを標的とした新たな骨形成促進	130

社会医学支援グループ

著書

- 1 ○川久保善智, 竹下直美, 大野憲五: 大塚遺跡から出土した弥生後期の人骨について. みやき町文化財調査報告書 第28集, みやき町内遺跡確認・試掘調査報告書 5, 155-160. 大同印刷, 佐賀 2021, 3.

原著論文

- 1 ○Iwasaka C, Yamada Y, Nishida Y, Hara M, Yasukata J, Miyoshi N, Shimanoe C, Nanri H, Furukawa T, Koga K, Horita M, Higaki Y, Tanaka K: Association between habitual coffee consumption and skeletal muscle mass in middle-aged and older Japanese people. Geriatr Gerontol Int, 21(10): 950-958, 2021, 10.
- 2 ○Shimanoe C, Matsumoto A, Hara M, Akao C, Nishida Y, Horita M, Nanri H, Higaki Y, Tanaka K: Perceived stress, depressive symptoms, and cortisol-to-cortisone ratio in spot urine in 6878 older adults. Psychoneuroendocrinology, Vol. 125, 105125, 2021, 3.

学会発表

国際規模の学会

- 1 °Nishida Y, Hara M, Higaki Y, Taguchi N, Shimano C, Horita M, Shinchi K, Tanaka K: Replacing sedentary time with moderate-to-vigorous physical activity is associated with decreased serum SPARC in men. World Congress of Epidemiology 2021 (Virtual Congress). 2021, 9, 3-6. International Journal of Epidemiology, 50 (Supplement 1): i173.

国内全国規模の学会

- 1 °大野憲五, 川久保善智, 竹下直美, 小山宏義: 復顔への応用に向けた日本人の眼球突出量の評価. 第75回日本人類学会大会 (オンライン開催). 2021, 10, 9-11. 第75回日本人類学会大会プログラム・抄録集, 38頁.
- 2 °西田裕一郎, 原めぐみ, 大桃秀樹, 小野加奈子, 清水厚志, 檜垣靖樹, 田口尚人, 島ノ江千里, 堀田美加子, 田中恵太郎: 客観的に測定された身体活動と末梢血 DNA メチル化の関連. 第31回日本疫学会学術総会 (WEB 開催). 2021, 1, 27-29 (リアルタイム配信), 2021, 1, 28-3, 12 (オンデマンド配信). J. Epidemiol. 31(Suppl): 127.

地方規模の学会

- 1 °大野憲五, 川久保善智, 竹下直美, 小山宏義: 日本人に適した復顔のための眼球突出量の評価. 第71回日本法医学会学術九州地方集会. 2021, 11, 5-6. 第71回日本法医学会学術九州地方集会プログラム, 17頁.
- 2 °館川大輔, 竹下直美, 大野憲五, 川久保善智, 倉岡晃夫: 諸富町大字為重地先から出土した古人骨について. 日本解剖学会第77回九州支部学術集会 (オンライン・ライブ開催). 2021, 10, 23. 日本解剖学会第77回九州支部学術集会プログラム・予稿集, 13頁.

その他の学会

- 1 竹下直美, 川久保善智, 大野憲五, 小山宏義, 青木歳幸: 佐賀藩豪商の近世墓から出土した一頭蓋の形態学的特徴について. 令和2年度 佐賀大学技術研究会. 2021, 3, 16. 令和2年度佐賀大学技術研究会 資料・発表要旨集, 16頁.

地域医療支援グループ

学会発表

国内全国規模の学会

- 1 °富永広貴, 西田裕一郎, 一ノ瀬浩幸, 米ヶ田宜久: 指尖容積脈波による無酸素性代謝閾値の非侵襲的検出法-理論的背景-. 第28回日本運動生理学会大会(ハイブリッド開催). 2021, 3, 5-6 (現地及びオンライン開催). 第28回日本運動生理学会大会抄録集, 56頁.
- 2 °米ヶ田宜久, 富永広貴, 西田裕一郎, 一ノ瀬浩幸: 指尖容積脈波による無酸素性代謝閾値の非侵襲的検出法-健常成人男性に対する検討-. 第28回日本運動生理学会大会(ハイブリッド開催). 2021, 3, 5-6 (現地及びオンライン開催). 第28回日本運動生理学会大会抄録集, 57頁.
- 3 一ノ瀬浩幸, 富永広貴, 米ヶ田宜久, 西田裕一郎: 指尖容積脈波による無酸素性代謝閾値の非侵襲的検出法-測定装置の詳細-. 第28回日本運動生理学会大会 (ハイブリッド開催). 2021, 3, 5-6 (現地及びオンライン開催). 第28回日本運動生理学会大会抄録集, 59頁.

- 4 一ノ瀬浩幸, 富永広貴, 米ヶ田宜久: オンライン形式による医学科学生の力学概念理解度調査 II. 日本物理学会第76回年次大会 (2021年) (オンライン開催), 領域13物理教育. 2021, 3, 12-15. 日本物理学会2021年年次大会概要集, 2353頁.
- 5 一ノ瀬浩幸, 富永広貴: 医学科初年度学生に対する力と運動についての概念調査および科学的推論力調査. 日本物理学会2021年秋季大会 (物性) (オンライン開催). 2021, 9, 20-23. 日本物理学会2021年秋季大会概要集, 2260頁.
- 6 [○]富永広貴, 一ノ瀬浩幸, 米ヶ田宜久: オンデマンド型物理講義の実践と教育効果. 第53回日本医学教育学会大会 (完全オンライン開催). 2021, 7, 29 (プレカンファレンス), 7, 30-31 (ライブ配信セッション), 2021, 8, 1 (ポストカンファレンス), 2021, 7, 30-8, 31 (オンデマンド配信). 医学教育, 第51巻・補冊, 151頁.
- 7 一ノ瀬浩幸, 富永広貴, 米ヶ田宜久: COVID19対策下での医学部物理実習における生体信号測定課題の実践と教育効果. 第53回日本医学教育学会大会 (完全オンライン開催). 2021, 7, 29 (プレカンファレンス), 7, 30-31 (ライブ配信セッション), 2021, 8, 1 (ポストカンファレンス), 2021, 7, 30-8, 31 (オンデマンド配信). 医学教育, 第51巻・補冊, 147頁.

病因病態科学支援グループ[○]

原著論文

- 1 [○]Hanashima K, Akutagawa T, Yamamoto-Rikitake M, Sakumoto T, Futamata M, Nakao Y, Yokoyama M, Toda S, Aoki S: Tissue-specific Physical and Biological Microenvironments Modulate the Behavior of Cervical Squamous Cell Carcinoma. *Acta Histochem Cytochem*, 54(5): 155-165, 2021, 10.